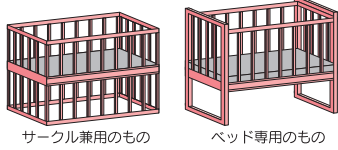


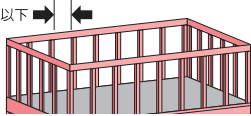
PS・SGマークつきベビーベッドの特長

★SGマークが表示されているベビーベッドは、次のような特長を備えています。

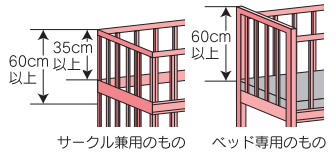
- ①SGマークが表示されているベビーベッドは、主として、家庭において、出生後24月以内の乳幼児の睡眠又は保育に使用することを目的として設計されたものです。ただし、揺動型のものは含まれていません。またマットレス、ふとん等は対象外となっています。
- ②SGマークが表示されているベビーベッドの種類は、大別すると次の二つに分けられます。



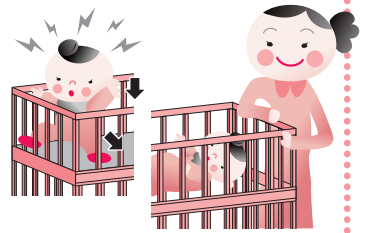
- ③とこ板は、使用時に容易にはずれないようにしっかりした構造になっています。
- ④サークル兼用のもの以外は、とこ板の上面より30cmの高さまでの範囲には、横さん等幼児が足をかけるような構造物はいっさいついていません。
- ⑤組子(さん)間や組子と支柱間、8.5cm以下



- ⑥とこ板の上面から上さんまでの高さは、60cm(サークル兼用のものは35cm)以上になっています。



- ⑦とこ板、前枠及び後枠、組子等は、所定の強度を保持しており、乳幼児がベッドの上であばれたり、保護者が枠により掛っても、十分耐えられるようになっていますが、保護者はとこ板に腰を掛けないで下さい。

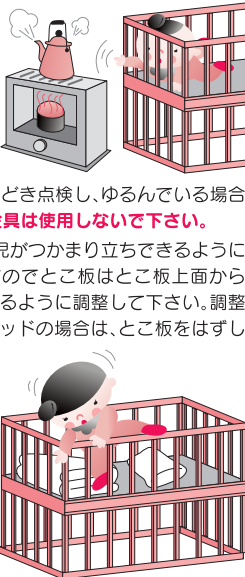


- ⑧合成樹脂製品、合成樹脂塗料、繊維製品等を使用しているものについては、食品衛生法や有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律等による規制基準を参考として、その安全性が確認されています。

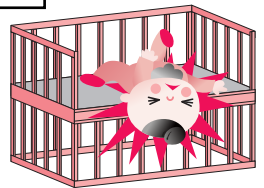
使用上のご注意

誤った使い方をして思わぬ事故を起こした例もありますので、十分に注意をして正しくご使用の上、赤ちゃんの安全をお守りください。

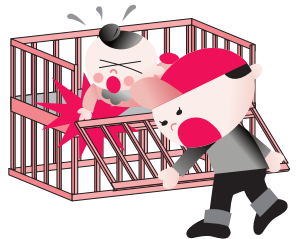
- 使用して良い乳幼児の年齢は標準として**生後24月以内**です。
- 敷ふとん及び、**マット**等は枠との間に**すき間**を生じないもので、適当な固さを有するものを使用して下さい。
- ベッドの設置場所は水平、平たんで近くにストーブなどの危険物や又手足の届く位置にタンス、イス等の足掛りになるようなものが無い安全な場所を選んで設置して下さい。
- 止め金具及びネジ類は確実かどうかときどき点検し、ゆるんでいる場合はしっかり締め直して下さい。**代替品の金具は使用しないで下さい。**
- とこ板の高さが調整式のベッドは、乳幼児がつかまり立ちできるようになった場合は、這い上る危険がありますのでとこ板はとこ板上面から上さん上面までの高さが**60cm以上**になるように調整して下さい。調整後の高さが60cm未満のサークル兼用ベッドの場合は、とこ板をはずしてご使用下さい。
- 1歳を超えますと幼児の動きも活発になり、枠を**乗越える**場合がありますので十分ご注意下さい。
- ベッドの内側には、踏み台のかわりになる様な箱類や、折りたたんで高くなったフuton、オムツ、衣料等は置かないようにして下さい。



- ベッドから保護者が離れるときは開閉式又はスライド式の扉のさくは必ず上段の位置に固定して下さい。**



- キャスターにストッパーが付いているものは、使用時に必ずストッパーを掛けて下さい。
- ベッドには**ひも類**等の不必要なものは危険ですから取り付けないようにして下さい。
- 枠には腰掛けたり、ふら下がったり、揺さぶったりするようなことはしないで下さい。
- ベッドは破損、故障等が生じた状態**では使用しないで下さい。
- 同時に**2人以上**で使用しないで下さい。
- 乳幼児の頭巾がさくのとてさんとの間隔及びたてさんと支柱との間隔より小さい場合は、十分注意して使用して下さい。
- 開閉式又はスライド式の扉を操作する際に、手足等を**はさむ**危険がありますから十分注意してご使用頂くと同時に、保護者以外は操作しないで下さい。



ベッドを解体する場合は組み立て手順と逆の順番で解体してください。

- ①各力所のネジをゆるめる。
- ②収納棚の組立ネジを抜いて収納棚を外す。
- ③床板の組立ネジを抜いて床板を外す。
- ④床板受ピンを抜く。
- ⑤前枠・後枠と、横枠の下のネジを抜いてから上のネジを抜く。

ご返却時はキャスターを取り外して梱包をお願いします。

